

県知事選 大竹進候補 12万7525票(26%)
獲得し健闘・政治を変える流れ広げる!



5/30ヨーカドー前の大竹進街頭演説会に応援に来た日本共産党小池晃参議院議員・民主党阿部知子衆議院議員・大竹進候補・ファルマ後援会の皆さんと共に

= 5月19日 環境厚生委員会で質問 =

●東通原発の事故の際の住民の避難は万全か

◆住民避難の移動手段は確保できるのか

<環境生活部長>30キロ圏内の5市町村が避難計画で想定しているバス必要台数は1600台となる。しかし、今後バス、自家用車、海路なりを組み合わせ、各施設の使用台数も考慮し調整していくことになる。(自治体のバス保有台数はわずか16台)

◆避難の受け入れ先となる青森市や弘前市における食料等の調達についてどう考えているのか

<原子力安全対策課長>毛布などの支援物資は備蓄している。食料・水・生活必需品などは民間の業者と災害時における物資の供給に関する締結をしている。原子力防災の際の費用については、バス・食材の調達など協力したところが負担を負わないようにする。

●女性の登用率の状況は進んでいるか

<青少年・男女共同参画課長>県の審議会における女性委員の比率は40%の目標に対し34.8%。県議会における女性議員の登用は48人中3人で6.3%、市部で10.6%、町村部で3.0%。管理職の登用は、人事課が5%、教育庁15.7%、警察本部0%となっている。

●有料老人ホームの実態は

<高齢福祉保健課長>有料老人ホームの設置数は5月1日現在県全体で199ヶ所。うち弘前市には54ヶ所あり、42ヶ所が株式会社運営。市町村や利用者等からの情報提供等に基づき立ち入り検査・指導を行っている。

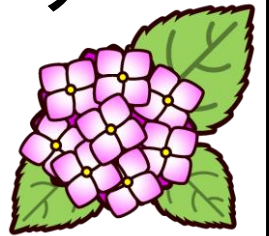
●介護報酬改定の影響について

<同上>今のところ事業者に影響が出ているという話は聞き及んでいないが、今後利用者の質の確保という観点から市町村や関係団体等から情報収集していく。



共産党議員が2人から3人になり県議団控室が拡張されました。

日本共産党青森県議会議員
安藤はるみの
新・アジサイだより



胸がすく
スカッと質問
志位和夫
(はるみのワクワク川柳)

朝街宣再開
知事選中はできませんでしたが、8日大町ヒロロ前から始めて、1日までに6回となりました。

■皆さんの「ご意見」・「ご要望」をお寄せ下さい。 ■「生活相談」お気軽にご連絡下さい。5月の相談対応12件。



税別¥600

夫は要介護2の認定を受けています。介護が必要な夫を抱えての議員活動はこの先どうなるのだろうか、通院介助の介護サービスや新婦人の仲間・Uターンで戻ってきた息子夫婦の助けも借りて何とか普通の生活を取り戻しています。毎日そばにいてあげられないつらさは働く者の共通する思いでしょう。夫は手術の後遺症で右目を失明したこともあり障害者の苦勞を背負うことになりました。しかし手術後早期からのリハビリによって車椅子を経て、自立歩行が可能になりました。夫は病気で倒れるまでの長い間障害児教育に携わってきましたので、自分の体験を通して医療とリハビリに感謝しつつ経過と思いを本にしたいと取り組んできました。この度その本、安藤房治著「おかげり、じいじ」が出版されました。目が不自由になつたというハンディを抱えた中での出版でしたので様々な苦勞を傍で見てきました。お世話になった大学病院や脳卒中リハビリセンターの先生方が推薦して下さいました。はるみ事務所にかかせていただきますのでよろしかったらご購入下さい。

ほっとタイム
「おかげり、じいじ」